

添田町公共施設個別施設計画

令和 3 年 3 月

添田町

目 次

序章 計画策定にあたって	1
1. 計画策定の背景と目的	1
2. 本計画の位置づけ	1
3. 計画の対象施設	2
4. 計画期間	5
(参考) 公共施設等総合管理計画(平成 28 年度)	5
第 1 章 公共施設の現況	6
1. 公共施設の保有状況等	6
(1) 公共施設(建築系)の保有状況	6
(2) 町民一人当たりの保有状況	7
(3) 建築年度別の整備状況	8
第 2 章 対象施設の劣化度調査	9
1. 調査対象施設と調査方法	9
(1) 調査対象施設	9
(2) 調査方法	9
2. 調査結果	10
(1) 重点施設	10
(2) 重点施設以外の公共施設	13
第 3 章 施設の稼働状況	16
1. 施設の稼働状況	16
第 4 章 個別計画	17
1. 施設のライフサイクル期間の基本方針	17
(1) 期間の考え方	17
(2) 事業費単価	18
2. 施設の長寿命化等の方針	19
(1) 長寿命化、当面維持、廃止の考え方	19
(2) 改修の時期の考え方	19
(3) 改修の優先順位の考え方	20
(4) 各施設の長寿命化等の一覧表	21
3. 重点期間における個別計画(実施計画)の考え方	27
(1) 改善等の施設の選択	27
(2) 長寿命化改修の優先順位	28
(3) 当面維持でも計画的に最小限の改修をする施設)	28
(4) 6 か年計画	29
4. 将来の公共施設(建築系)の維持更新のシミュレーション(40 年間)	32
(1) 算出方法	32
(2) 維持更新シミュレーション結果	33

5. 実現化に向けて	34
(1) 公共施設(建築物)の現状と課題	34
(2) 実現化のための方策	35

序章 計画策定にあたって

1. 計画策定の背景と目的

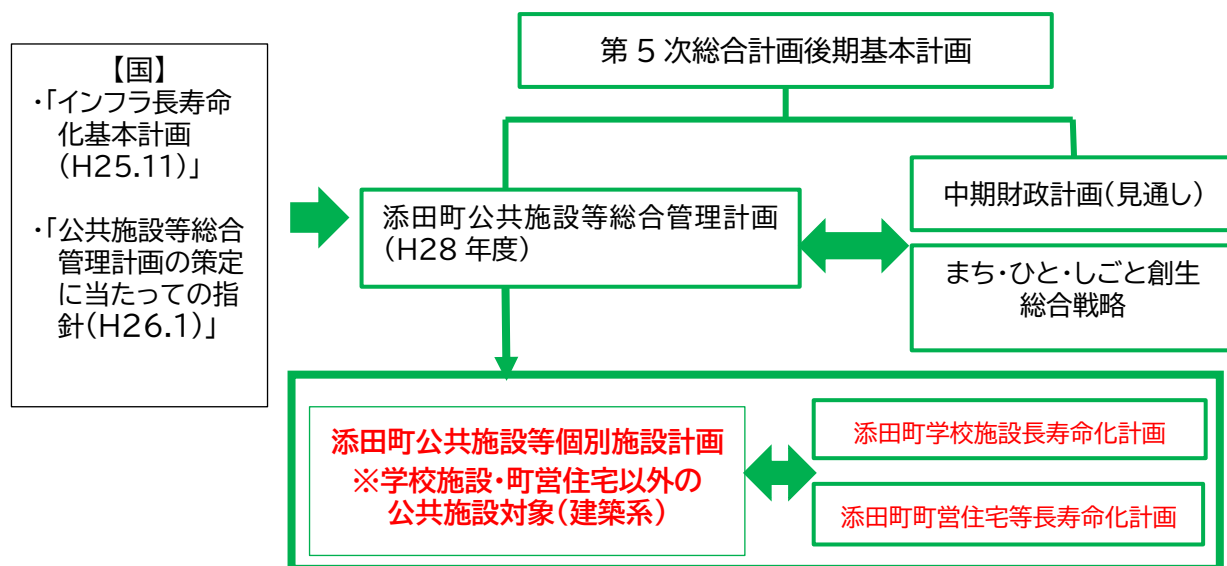
平成 28 年度に策定した「添田町公共施設等総合管理計画(以下「総合管理計画」という。))において、本町の保有する公共施設は、県内類似自治体平均や全国平均に比べて極めて高く、建築後 30 年以上を経過している公共施設の延床面積は、6 割を超え、20 年後には 9 割以上となることが指摘されています。このような公共施設の保有量の多さや老朽化への対応として①人口減少・人口構成に見合う公共施設の保有量への対応、②公共施設更新費用への対応、③公共施設としての安全性の確保と老朽化への対応、④インフラ施設への対応の 4 つの課題が示されており、計画期間(2017 年～2036 年)の 20 年間で延床面積の 20%削減を目標としています。

本計画は、総合管理計画で示された方針を具現化するために、個別施設ごとの現状を把握し、更新や統廃合、長寿命化等の具体的な計画の検討を行うとともに、財政負担の縮減と平準化を図るため、個別施設計画を策定することを目的とします。

2. 本計画の位置づけ

本計画は、この総合管理計画を上位計画として、学校施設と町営住宅以外の公共施設(建築系)を対象とした「その他公共施設」の個別計画として位置付けるものです。

図 添田町個別施設計画の位置づけ



※本計画は建築系の公共施設を対象としており、インフラ施設系の長寿命化計画は含まず。

3. 計画の対象施設

本計画で対象とする施設は、町有資産のうちの公共施設(建築系)から学校施設(旧津野中学校を除く)及び町営住宅を除いた下記の107施設です。(令和2年4月末)

大 分 類	中 分 類	施 設 名 称	延床面積(㎡)
町民文化系施設	集会施設	彦山総合センター	994.00
町民文化系施設	集会施設	真木朝日教育集会所	146.38
町民文化系施設	集会施設	長平教育集会所	135.80
町民文化系施設	集会施設	畑井教育集会所	251.10
町民文化系施設	集会施設	朝日ヶ丘団地伊原集会所	59.00
町民文化系施設	集会施設	豊川教育集会所	230.00
町民文化系施設	集会施設	中鶴教育集会所	423.30
町民文化系施設	集会施設	不動教育集会所	299.50
町民文化系施設	集会施設	津野生活改善センター	238.00
町民文化系施設	集会施設	津野公民館	514.00
町民文化系施設	集会施設	野田公民館	298.00
町民文化系施設	集会施設	鏡町集会所	178.00
町民文化系施設	集会施設	隣保館	488.10
町民文化系施設	集会施設	豊川集会所	156.00
町民文化系施設	集会施設	コミュニティーハウス	140.00
町民文化系施設	集会施設	そえだ公民館	3,192.04
町民文化系施設	集会施設	鳥迫教育集会所	199.20
町民文化系施設	集会施設	町民会館	1,938.09
町民文化系施設	集会施設	中元寺地区センター	620.00
町民文化系施設	集会施設	住民センター	190.00
社会教育系施設	図書館	添田町立図書館・児童館(図書館)	1,047.92
社会教育系施設	博物館等	英彦山修験道館	514.00
社会教育系施設	博物館等	添田町美術館	335.33
社会教育系施設	博物館等	山伏文化室	1,634.00
社会教育系施設	博物館等	財蔵坊	136.78
社会教育系施設	博物館等	埋蔵文化財センター	979.06
スポーツ・レクリエーション系施設	スポーツ施設	勤労者体育施設	3,017.45
スポーツ・レクリエーション系施設	スポーツ施設	武道館	480.00
スポーツ・レクリエーション系施設	スポーツ施設	英彦山運動公園	104.00
スポーツ・レクリエーション系施設	スポーツ施設	添田町体育館	1,580.67
スポーツ・レクリエーション系施設	スポーツ施設	旧英彦中学校体育館	825.00
スポーツ・レクリエーション系施設	レクリエーション施設・観光施設	彦山観光案内所	123.00
スポーツ・レクリエーション系施設	レクリエーション施設・観光施設	英彦山野営場	681.00

大 分 類	中 分 類	施 設 名 称	延床面積(㎡)
ｽﾎｰﾂ・レクリエーション系施設	レクリエーション施設・観光施設	旧英彦山レクリエーションセンター	680.67
ｽﾎｰﾂ・レクリエーション系施設	レクリエーション施設・観光施設	英彦山スロープカー駅舎	1,232.00
ｽﾎｰﾂ・レクリエーション系施設	レクリエーション施設・観光施設	添田勤労者体育センター	779.00
ｽﾎｰﾂ・レクリエーション系施設	保養施設	ひこさんホテル和	2,444.00
ｽﾎｰﾂ・レクリエーション系施設	保養施設	しゃくなげ荘	2,702.67
産業系施設	産業系施設	添田町物産展示場	200.00
産業系施設	産業系施設	鷹巣原休憩所(特産品売場)	23.18
産業系施設	産業系施設	歓遊舎ひこさん	2,574.00
学校教育系施設	学校	旧津野中学校校舎	1,232.00
子育て支援施設	幼保・こども園	みどり保育園	574.00
子育て支援施設	幼保・こども園	たから保育園	269.00
子育て支援施設	幼保・こども園	ひかり保育園	256.00
子育て支援施設	幼保・こども園	くるみ保育園	1,586.00
子育て支援施設	幼保・こども園	旧くるみ保育園	380.00
子育て支援施設	幼児・児童施設	添田町立図書館・児童館(児童館)	194.97
保健・福祉施設	高齢者福祉施設	錦風荘	2,624.00
保健・福祉施設	高齢者福祉施設	特別養護老人ホームそえだ	2,086.00
保健・福祉施設	高齢者福祉施設	包括支援センター	479.00
保健・福祉施設	高齢者福祉施設	高齢者生活支援ハウスやすらぎ	587.00
保健・福祉施設	高齢者福祉施設	ふれあいの館	3,854.00
保健・福祉施設	保健施設	クアハウス「ハピネス」	1,040.00
行政系施設	庁舎等	添田町役場庁舎	3,850.81
行政系施設	庁舎等	庁舎別館(教育委員会)	233.00
行政系施設	庁舎等	旧津野出張所	88.00
行政系施設	消防施設	一分団格納庫	84.00
行政系施設	消防施設	二分団格納庫	80.00
行政系施設	消防施設	三分団格納庫	111.00
行政系施設	消防施設	四分団格納庫	66.00
行政系施設	消防施設	五分団格納庫	111.50
行政系施設	消防施設	六分団格納庫	66.00
行政系施設	消防施設	第五分団格納庫	35.00
行政系施設	消防施設	本部 消防格納庫	128.00
公園	公園	農村公園緑地	309.00
公園	公園	添田公園公衆便所	59.00
公園	公園	駅前駐車場便所	9.00
その他	その他	庄西近代化施設	343.00
その他	その他	旧庁舎西別館	93.00

大 分 類	中 分 類	施 設 名 称	延床面積(㎡)
その他	その他	旧警察官舎	674.74
その他	その他	町一共同作業場	105.00
その他	その他	大型作業場	1,228.00
その他	その他	添田町大型共同作業場2	1,526.00
その他	その他	大型共同作業所	1,836.00
その他	その他	農業近代化施設	3,731.65
その他	その他	添田町食肉加工施設	84.00
その他	その他	真木朝日シイタケ栽培施設	475.00
その他	その他	中鶴納骨堂	76.00
その他	その他	庄西納骨堂	44.00
その他	その他	不動納骨堂	100.00
その他	その他	豊川納骨堂	100.00
その他	その他	鳥迫納骨堂	102.00
その他	その他	新城真木納骨堂	65.00
その他	その他	添田町農業用機械保管倉庫	208.00
その他	その他	下中元寺農機具倉庫	104.00
その他	その他	豊川農機具倉庫	156.00
その他	その他	中鶴農機具倉庫	84.00
その他	その他	畑井農機具倉庫	111.00
その他	その他	不動農機具倉庫	173.00
その他	その他	真木朝日農機具倉庫	114.00
その他	その他	豊川管理室	52.00
その他	その他	ミニSL添田格納庫	40.00
その他	その他	ミニSL英彦山格納庫	119.00
その他	その他	旧職業訓練校	200.00
その他	その他	灰田農業団地	2,165.28
その他	その他	旧真木幼稚園校舎	264.00
その他	その他	添田町役場庁舎車庫兼書庫	156.00
その他	その他	英彦山花園管理倉庫	18.00
その他	その他	庄原遺跡倉庫	48.60
その他	その他	お休処(公衆便所)	23.18
その他	その他	陣屋ダム公衆便所	9.60
その他	その他	油木ダム2 津野小学校横便所	11.64
その他	その他	油木ダム3 事務所横便所	11.64
その他	その他	油木ダム5 公園便所	11.64
その他	その他	畑地かんがい施設(排水ポンプ)	56.00
その他	その他	畑地かんがい施設(送水ポンプ)	42.54

4. 計画期間

本計画の計画期間は、総合管理計画との整合性を鑑み、令和 18 年度までの 16 年間とします。ただし、確実な実施を見据えた重点期間としては令和 3 年度～令和 8 年度までの 6 年間とし、町の財政状況や社会状況の変化等の諸事情に応じて、適宜見直しを行うものとします。

計画期間：令和 3 年度～令和 18 年度(16 年間)
ただし、重点期間：令和 3 年度～令和 8 年度 (6 年間)

(参考) 公共施設等総合管理計画(平成 28 年度)

■計画期間:平成 29 年度～令和 18 年度(20 年間)

■公共施設等の管理に関する基本的な考え方

- ①人口減少・人口構成に見合う公共施設の保有量の対応
- ②公共施設更新費用への対応
- ③公共施設としての安全性の確保・老朽化への対応
- ④インフラ施設への対応

■公共施設等の総合的かつ計画的な管理に向けた基本方針

- ①公共施設の「選択と集中」～量の最適化～
- ②機能重視への転換 ～サービスの最適化～
- ③効率的・効果的な財政運営 ～コストの最適化～
- ④施設の安全性確保と長寿命化 ～性能の最適化～
- ⑤長寿命化等によるライフサイクルコストの縮減 ～インフラ施設の適切な維持管理～

■公共施設等の保有量の削減目標

計画期間 20 年間で約 20%削減する。(延床面積ベース)

■本計画の実施に向けて

- ①全庁的な取組体制の構築
- ②情報の一元管理
- ③財源の確保
- ④庁内の意識改革

第1章 公共施設の現況

1. 公共施設の保有状況等

(1) 公共施設(建築系)の保有状況

① 全保有状況

今回の個別計画において、施設分類や対象外の施設の見直しを行った結果、平成 26 年度末の保有施設の総延床面積は 143,717 ㎡(公共施設等総合管理計画:145,687 ㎡)となっており、令和元年度の総延床面積は 139,967 ㎡であり、5 年間で 3,750 ㎡の減、平成 26 年度の面積に対して 2.6%の減となっています。

本町は 20 年間で 20%削減を目標としており、5 年間の平均でみると概ね 4%の削減達成目標に対しては、まだ、不十分といえます。

表 平成 26 年度末と令和元年度末との保有状況の比較

大分類	中分類	平成 26 年度末		令和元年度末		延床面積 増減	施設数 増減
		延床面積 (㎡)	施設数	延床面積 (㎡)	施設数		
町民文化系施設	集会施設	10,691	20	10,691	20	0	0
社会教育系施設	図書館	1,048	1	1,048	1	0	0
	博物館等	3,721	5	3,599	5	△ 122	0
スポーツ・レクリエーション系施設	スポーツ施設	6,124	6	6,007	5	△ 117	△ 1
	レクリエーション施設・観光施設	3,496	5	3,496	5	0	0
	保養施設	5,147	2	5,147	2	0	0
産業系施設	産業系施設	2,797	3	2,797	3	0	0
学校教育系施設	学校	23,311	7	23,311	7	0	0
子育て支援施設	幼保・こども園	3,133	5	3,065	5	△ 68	0
	幼児・児童施設	195	1	195	1	0	0
保健・福祉施設	高齢者福祉施設	9,630	5	9,630	5	0	0
	保健施設	1,040	1	1,040	1	0	0
行政系施設	庁舎等	4,172	3	4,172	3	0	0
	消防施設	681	8	681	8	0	0
町営住宅	町営住宅	49,889	22	49,939	22	50	0
公園	公園	377	3	377	3	0	0
その他	その他	18,265	50	14,772	40	△ 3,493	△ 10
合 計		143,717	147	139,967	136	△ 3,750	△ 11

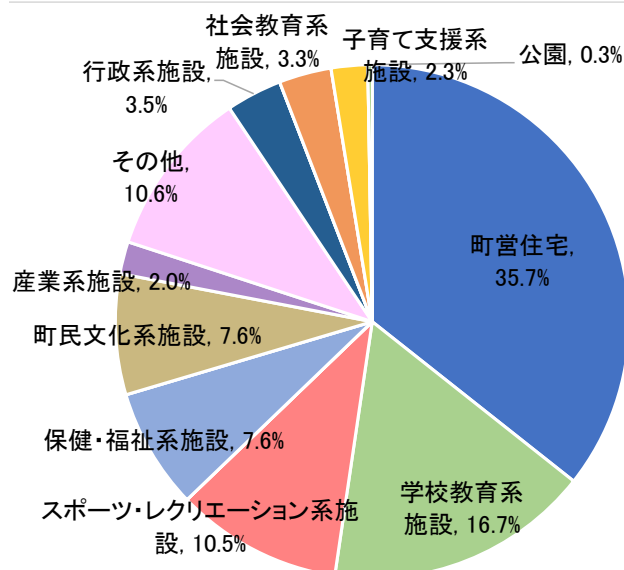
②施設分類別保有状況

本町の公共施設の保有状況を分類別構成比にみると町営住宅が 35.7%と最も多くを占め、次に学校教育系施設 16.7%、その他施設 10.6%、スポーツ・レクリエーション系施設 10.5%となっています。

※その他施設

・大型及び共同作業場、納骨堂、農機具倉庫、倉庫、畑地かんがい施設等

図 施設分類別保有面積の構成比

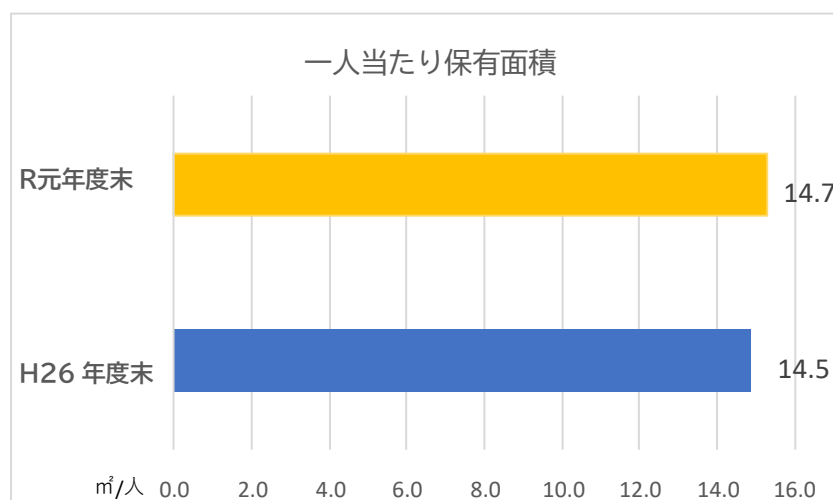


(2)町民一人当たりの保有状況

本町が保有する公共施設の町民一人当たりの保有量は 14.7 m²となっています。平成 26 年度末から人口が減少しているため、令和元年末の町民一人当たり面積は、平成 26 年度末に比べて 0.2 m²増加しています。

図表 町民一人当たり保有面積比較

	H26 年度末	R元年度末
人口(人)	9,924	9,526
保有面積(m ²)	143,717	139,967
一人当たり保有面積(m ²)	14.5	14.7



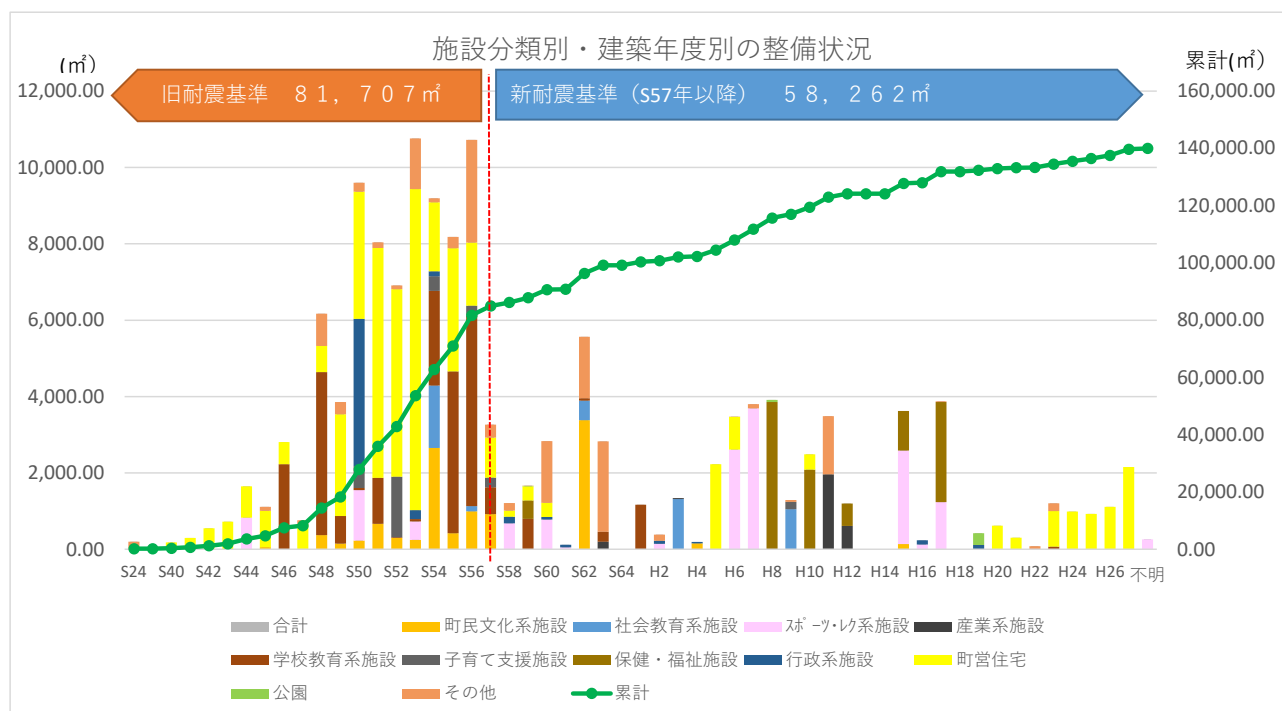
○平成26年度末人口
平成 27 年度国勢調査人口
○令和元年度末人口
令和 2 年 3 月末住民基本台帳人口

(3) 建築年度別の整備状況

施設類型別・建築年度別の整備状況を見ると、旧耐震基準(昭和 56 年 5 月 31 日確認申請受理以前)の建物が 81,707 m²と公共施設保有面積の約 58%と 6 割弱を占めています。これは昭和 50 年代から町営住宅及び学校施設の整備が多く進められてきたことが大きな要因となっています。

平成 6～7 年には観光振興策として「しゃくなげ荘」、平成 15 年には「ひこさんホテル和」を、平成 11～12 年には産業系施設として道の駅「歓遊舎ひこさん」を整備し、平成 20 年以降は、老朽化した町営住宅の建替えが行われています。

図 施設類型別・建築年度別の整備状況



第2章 対象施設の劣化度調査

1.調査対象施設と調査方法

(1)調査対象施設

本計画の対象施設の全ての施設において、劣化度調査を実施しました。規模が概ね 500 m²以上のもの又は、早い時期に方針を決める必要のある 43 施設 68 棟を重点施設とし、専門家による調査を行いました。また、重点施設以外の公共施設は、専門家の指導の下、各施設所管課の担当職員が実施しました。

(2)調査方法

①重点施設

- ・管理者ヒアリングの実施
- ・現地での目視調査及び手の届く範囲での打診調査
- ・下記表の劣化状況の評価に基づき、A～Dの4段階で判定
- ・昭和 58 年以前に竣工された建物は、旧耐震設計基準(昭和 56 年 5 月 30 日以前に確認申請が受理された建物)である可能性が高いと判断し、D判定としています。

②重点施設以外の公共施設

- ・現地での目視調査及び手の届く範囲での打診調査
- ・下記表の劣化状況の評価に基づき、A～Dの4段階で判定
- ・昭和 58 年以前に竣工された建物は、旧耐震設計基準(昭和 56 年 5 月 30 日以前に確認申請が受理された建物)である可能性が高いと判断し、D判定としています。

表 劣化状況の評価

- | |
|---|
| <p>○A 良好:特に劣化が認められない良好な状況。長期的な維持管理が可能。</p> <p>○B 軽度:部分的な修繕は必要だが、全体的には計画修繕を行えばよい状況。
長期的な維持管理が可能。</p> <p>○C 中度:劣化が進行し、早期に修繕が必要な状況。修繕を行えば、比較的長期的な維持管理が可能</p> <p>○D 重度:劣化が著しく、早急な修繕が必要。長期的な維持管理を行うためにはかなりのコストが必要。</p> <p>※ 旧耐震基準で建てられており、安全性の点で問題がある。改修を行う場合は耐震診断を実施し、耐震性が不足している場合は耐震改修と併せて必要な改修を行う必要がある。</p> |
|---|

2. 調査結果

(1)重点施設

重点施設の劣化度調査の判定結果をみるとB判定が17施設26棟、D判定が21施設28棟、C判定が12施設14棟となっています。

表 重点施設の劣化度調査判定結果

施設名称	延床面積	建築年		築年数	構造	劣化度評価
		和暦	西暦			
彦山総合センター	994.00	S 56	1981	40	R C	D
津野公民館	514.00	S 54	1979	42	R C	D
隣保館	488.10	S 51	1976	45	R C	D
そえだ公民館	3,192.04	S 63	1988	33	R C	C
町民会館	1,938.09	S 54	1979	42	R C	D
中元寺地区センター	620.00	S 57	1982	39	R C	D
添田町立図書館・児童館（図書館）	1,047.92	H 9	1997	24	R C	B
英彦山修験道館	514.00	S 62	1987	34	R C	B
添田町美術館	335.33	H 3	1991	30	S R C	C
山伏文化室	1,634.00	S 54	1979	42	R C	D
埋蔵文化財センター	979.06	H 3	1991	30	S R C	B
勤労者体育施設（そえだドーム）	3,017.45	H 7	1995	26	S R C	B
武道館	480.00	S 53	1978	43	R C	D
添田町体育館	1,580.67	S 50	1975	46	S R C	D
旧英彦中学校体育館	825.00	S 44	1969	52	R C	B
野営場(倉庫)	50.00	S 61	1986	35	木造	B
野営場(シャワー棟)	39.00	H 2	1990	31	C B	B
野営場(ログハウス)	592.00	H 7	1995	26	木造	C
旧英彦山レクリエーションセンター	680.67	S 58	1983	38	R C	B
英彦山スロープカー（上駅-1）	137.00	H 17	2005	16	S	B
英彦山スロープカー（上駅）-2	72.00	H 17	2005	16	S	C
英彦山スロープカー（中駅）	336.00	H 17	2005	16	S	C
英彦山スロープカー（花園駅）	26.00	H 17	2005	16	S	C
英彦山スロープカー（中駅-2）	557.00	H 17	2005	16	R C	C
英彦山スロープカー(下駅)	104.00	H 17	2005	16	S	C
添田勤労者体育センター	779.00	S 60	1985	36	S R C	B
ひこさんホテル和	2,444.00	H 15	2003	18	S	B

施設名称	延床面積	建築年		築年数	構造	劣化度評価
		和暦	西暦			
しゃくなげ荘	2,702.67	H 6	1994	27	S R C	D
歓遊舎ひこさん（物産館）	1,779.00	H11	1999	22	S	B
歓遊舎ひこさん （水車小屋・餅つき棟）	36.00	H11	1999	22	木造	B
歓遊舎ひこさん （わくわくパーク食堂）	164.00	H12	2000	21	木造	B
歓遊舎ひこさん（陶芸窯施設）	53.00	H12	2000	21	木造	B
歓遊舎ひこさん（電動カート施設）	312.00	H12	2000	21	S	B
歓遊舎ひこさん（ミニ S L 収納庫）	82.00	H12	2000	21	R C	B
歓遊舎ひこさん(屋外トイレ)	14.00	H11	1999	22	R C	B
歓遊舎ひこさん(農園管理棟)	134.00	H11	1999	22	木造	B
旧津野中学校校舎	1,170.00	S 46	1971	50	R C	D
旧津野中学校校舎（プール更衣室）	62.00	H 1	1989	32	R C	C
みどり保育園	574.00	S 50	1975	46	R C	D
たから保育園	269.00	S 56	1981	40	R C	D
ひかり保育園	256.00	S 57	1982	39	R C	D
くるみ保育園	1,586.00	S 52	1977	44	R C	D
旧くるみ保育園	380.00	S 54	1979	42	R C	D
添田町立図書館・児童館（児童館）	194.97	H 9	1997	24	R C	B
錦風荘	2,624.00	S 55	1977	44	S R C	C
特別養護老人ホームそえだ	2,086.00	H10	1998	23	R C	B
包括支援センター	479.00	S 56	1981	40	R C	D
高齢者生活支援ハウスやすらぎ	587.00	H13	2001	20	S	B
ふれあいの館	3,854.00	H 8	1996	25	R C	B
クアハウス「ハピネス」	1,040.00	H15	2003	18	S	B
添田町役場庁舎	3,850.81	S 50	1975	46	R C	D
庁舎別館（教育委員会）	233.00	S 53	1978	43	R C	D
大型作業場（作業場）	1,094.00	S 53	1978	43	S	D
大型作業場（作業場）	69.00	S 53	1978	43	S	D
大型作業場（職員棟）	65.00	S 53	1978	43	S	D
添田町大型共同作業場 2	1,526.00	H11	1999	22	S	B
大型共同作業所	1,836.00	S 63	1988	33	S	C

施設名称	延床面積	建築年		築年数	構造	劣化度評価
		和暦	西暦			
農業近代化施設（ライスセンター）	1,308.00	S 60	1985	36	S	C
農業近代化施設 （共同集荷貯蔵施設）	1,609.82	S 62	1987	34	S	B
農業近代化施設（育苗施設）	530.33	S 63	1988	33	S	B
農業近代化施設（緑化棟）	283.50	S 60	1985	36	S	B
灰田農業団地（管理棟）	146.76	S 56	1981	40	S	D
灰田農業団地（倉庫）	30.44	S 56	1981	40	R C	D
灰田農業団地（ポンプ室）	8.08	S 56	1981	40	R C	D
灰田農業団地（栽培ハウス）	990.00	S 56	1981	40	S	D
灰田農業団地（栽培ハウス）	990.00	S 56	1981	40	S	D
旧真木幼稚園校舎(校舎)	232.00	S 55	1980	41	R C	D
旧真木幼稚園校舎(給食室)	32.00	S 55	1980	41	R C	D

(2)重点施設以外の公共施設

重点施設以外の公共施設(64施設71棟)の劣化度調査の判定結果をみるとD判定が43施設48棟と最も多く、B判定が10施設10棟、C判定が9施設9棟、A判定が2施設4棟となっています。

D判定が約6割と多いのは、昭和58年以前の竣工の建物が多いことから、旧耐震設計と判断しているためです。

表 重点施設以外の公共施設の劣化度調査判定結果

施設名称	延床面積	建築年		築年数	構造	劣化度評価
		和暦	西暦			
真木朝日教育集会所	146.38	S49	1974	47	R C	D
長平教育集会所	135.80	S48	1973	48	木造	D
畑井教育集会所	251.10	S53	1978	43	R C	D
朝日ヶ丘団地伊原集会所	59.00	S45	1970	51	木造	D
豊川教育集会所	230.00	S 50	1975	46	R C	D
中鶴教育集会所	423.30	S 55	1980	41	R C	D
不動教育集会所	299.50	S 52	1977	44	R C	D
津野生活改善センター	238.00	S48	1973	48	R C	D
野田公民館	298.00	S 57	1982	39	S	D
鏡町集会所	178.00	S 51	1976	45	R C	D
豊川集会所	156.00	H4	1992	29	R C	B
コミュニティーハウス	140.00	H15	2003	18	R C	C
鳥迫教育集会所（集会所）	199.20	S54	1979	42	R C	D
鳥迫教育集会所（倉庫）	不明	S54	1979	42	不明	D
住民センター	190.00	S62	1987	34	R C	C
財蔵坊	136.78	S49	1974	47	木造	D
英彦山運動公園	104.00	H 2	1990	31	C B	C
彦山観光案内所	123.00	H16	2004	17	木造	B
添田町物産展示場	200.00	S63	1988	33	S R C	C
鷹巣原休憩所（特産品売場）	23.18	H3	1991	30	R C	C
旧津野出張所	88.00	S58	1983	38	R C	D
一分団格納庫	84.00	S58	1983	38	C B	D
二分団格納庫	80.00	H2	1990	31	C B	C
三分団格納庫	111.00	H16	2004	17	簡易防火	B
四分団格納庫	66.00	S61	1986	35	C B	B

施設名称	延床面積	建築年		築年数	構造	劣化度評価
		和暦	西暦			
五分団格納庫	111.50	H19	2007	14	C B	B
六分団格納庫	66.00	S60	1985	36	C B	C
第五分団格納庫	35.00	H4	1992	29	木造	B
本部 消防格納庫	128.00	S54	1979	42	R C	D
農村公園緑地（管理棟）	79.00	H19	2007	14	木造	A
農村公園緑地（東屋）	20.00	H19	2007	14	木造	A
農村公園緑地（河川プール）	210.00	H19	2007	14	C B	A
添田公園公衆便所	59.00	H8	1996	25	S R C	B
駅前駐車場便所	9.00	H3	1991	30	C B	C
庄西近代化施設（工場）	291.00	S57	1982	39	S	D
庄西近代化施設（職員棟）	52.00	S57	1982	39	S	D
旧庁舎西別館	93.00	S58	1983	38	R C	D
旧警察官舎（旧警察官舎）	632.55	S48	1973	48	R C	D
旧警察官舎（倉庫）	42.19	S48	1973	48	C B	D
町一共同作業場	105.00	S54	1979	42	S R C	D
添田町食肉加工施設	84.00	H22	2010	11	木造	B
真木朝日シイタケ栽培施設 （栽培施設）	144.00	S56	1981	40	S	D
真木朝日シイタケ栽培施設 （栽培施設）	248.00	S56	1981	40	S	D
真木朝日シイタケ栽培施設 （栽培施設）	83.00	S56	1981	40	S	D
中鶴納骨堂	76.00	S50	1975	46	R C	D
庄西納骨堂	44.00	S56	1981	40	R C	D
不動納骨堂	100.00	S45	1970	51	R C	D
豊川納骨堂	100.00	S47	1972	49	R C	D
鳥迫納骨堂	102.00	S52	1977	44	R C	D
新城真木納骨堂	65.00	S51	1976	45	R C	D
添田町農業用機械保管倉庫	208.00	H22	2010	11	S	B
下中元寺農機具倉庫	104.00	S58	1983	38	S	D
豊川農機具倉庫	156.00	S49	1974	47	S	D
中鶴農機具倉庫	84.00	S51	1976	45	S	D

施設名称	延床面積	建築年		築年数	構造	劣化度評価
		和暦	西暦			
畑井農機具倉庫	111.00	H7	1995	26	S	B
不動農機具倉庫	173.00	S48	1973	48	S	D
真木朝日農機具倉庫	114.00	S49	1974	47	S	D
豊川管理室	52.00	S49	1974	47	木造	D
ミニ S L 添田格納庫	40.00	H2	1990	31	C B	D
ミニ S L 英彦山格納庫	119.00	H2	1990	31	C B	D
旧職業訓練校	200.00	S24	1949	72	木造	D
添田町役場庁舎車庫兼書庫	156.00	S50	1975	46	S	D
英彦山花園管理倉庫	18.00	H17	2005	16	木造	A
庄原遺跡倉庫	48.60	H9	1997	24	木造	D
お休処（公衆便所）	23.18	H3	1991	30	C B	C
陣屋ダム公衆便所	9.60	不明	不明	不明	C B	D
油木ダム 2 津野小学校横便所	11.64	S55	1980	41	C B	D
油木ダム 3 事務所横便所	11.64	S55	1980	41	C B	D
油木ダム 5 公園便所	11.64	S55	1980	41	C B	D
畑地かんがい施設（配水ポンプ）	56.00	S53	1978	43	R C	D
畑地かんがい施設（送水ポンプ）	42.54	S53	1978	43	R C	D

【合計】

重点施設とそれ以外の施設を合わせた 107 施設 139 棟で劣化度状況を見るとD判定が約 52%(74 棟)と半数を超えています。

A判定は3%(4棟)しかなく、B判定は約 28%(38 棟)、C判定は約 17%(23 棟)となっています。

第3章 施設の稼働状況

1. 施設の稼働状況

住民利用施設等について、各施設の稼働率(部屋の使用コマ数/全部屋の可能な使用コマ数 コマ数:施設で定められている使用時間帯)調査を行った結果、集会所やそえだ公民館を除く他の公民館は、稼働率 20～30%と低く、建替時には統合又は施設面積の削減を検討する必要があります。

また、勤労者体育施設(そえだドーム)、添田町体育館、武道館の稼働率も 15～40%程度と低く、スポーツ・レクリエーション施設においては、今後、廃止、統合化を含めて検討していく必要があります。

表 公共施設の稼働率状況

施設名称	稼働率		
	H29	H30	R 1
彦山総合センター	20	20	20
真木朝日教育集会所	25	25	25
畑井教育集会所	25	25	25
豊川教育集会所	25	25	25
中鶴教育集会所	25	25	25
不動教育集会所	25	25	25
津野公民館	23	23	23
隣保館	25	25	25
そえだ公民館	70	70	70
鳥迫教育集会所	25	25	25
町民会館	16	16	16
中元寺地区センター	20	20	20
住民センター	3.6	3.6	3.6
勤労者体育施設	38	38	38
武道館	15	14	15
英彦山運動公園	5	8	9
添田町体育館	43	40	41

第4章 個別計画

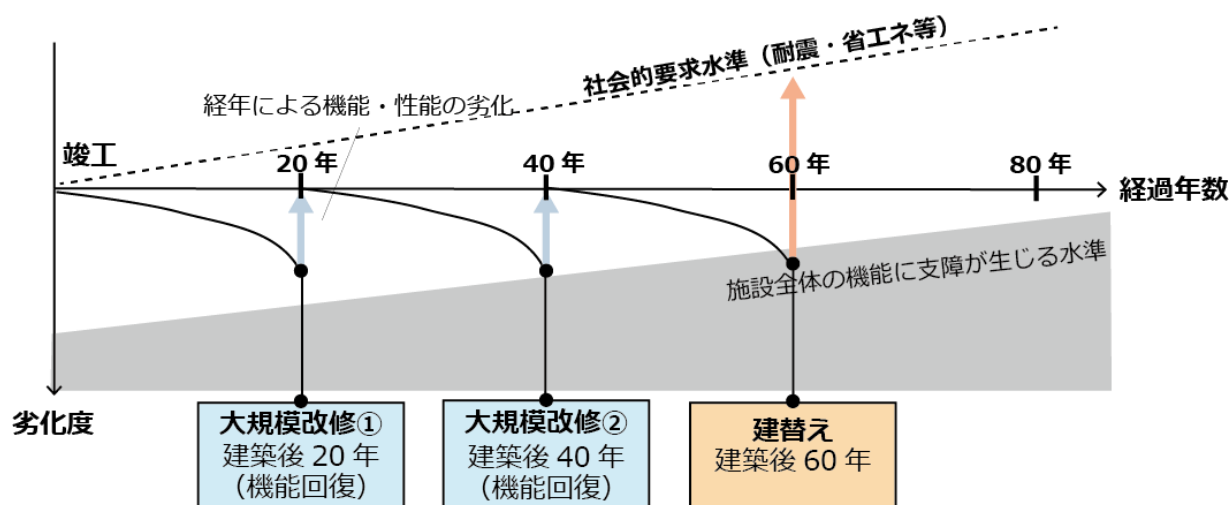
1. 施設のライフサイクル期間の基本方針

(1) 期間の考え方

○総務省モデルのライフサイクル期間

- ・平成 28 年度に策定した総合管理計画においては、総務省の維持更新シミュレーションに基づき 40 年間の維持更新費を試算しています。この総務省モデルでは、下図のように建築後 20 年目、40 年目に大規模改修を行い、60 年目に建替えを行うものとして設定されています。

図 総務省モデルのライフサイクル期間



○今回のライフサイクル期間の考え方

（目標建物使用年数：80 年）

- ・学校施設長寿命化計画では、予防保全による計画的な維持管理を行うため、建築後 40 年目に建物の耐久性を高め、機能や性能を社会的な要求水準まで引き上げる「長寿命化改修」を実施し、建物の目標使用年数を 80 年と設定しています。

（※日本建築学会「建築物の耐久計画に関する考え方」に基づく）

- ・今回の維持更新シミュレーション設定においては、次頁に示すように 20 年目に大規模改造、40 年目に長寿命化改造、60 年目に 2 回目の大規模改造、80 年目に建替えと 80 年のライフサイクルの考え方で設定します。

- ・その他の公共施設についても、上記と同様の考えに基づいて、建築後 40 年目に長寿命化改修を実施し、80 年の利用を行うこととしますが、移転や更新予定の施設は改修等を行わず、現在の機能を維持するための必要最小限の補修に留めます。
- ・すでに建築後 40 年を超えた施設は、60 年目に建替える計画とします。

社会的要求水準（耐震・省工法等）

経年による機能・性能の劣化

竣工

20年

40年

60年

80年

経過年数

劣化度

大規模改修①
建築後 20 年
(機能回復)

長寿命化改修
建築後 40 年
(機能向上)

大規模改修②
建築後 60 年
(機能回復)

建替え
建築後 80 年

施設全体の機能に支障が生じる水準

(2)事業費単価

- ・大規模改修と建替費用は、総務省モデルで指定された単価を採用しています。
- ・長寿命化改修の事業費単価については、総務省の維持更新シミュレーションの建替費用の 6 割としています。しかし、一部施設が大規模改修費用を下回る施設もあるため、その施設は建替費用の 7 割としています。

万円/m²

	大規模	長寿命化	建替え
	改修	改修	
学校教育系施設	17	19.8	33
その他	20	21.6	36
供給処理施設	20	21.6	36
公園	17	19.8	33
市営住宅	17	19.6	28
行政系施設	25	28.0	40
医療施設	25	28.0	40
保健・福祉施設	20	21.6	36
子育て支援施設	17	19.8	33
産業系施設	25	28.0	40
スポーツ・レクリエーション系施設	20	21.6	36
社会教育系施設	25	28.0	40
市民文化系施設	25	28.0	40

2. 施設の長寿命化等の方針

(1) 長寿命化、当面維持、廃止の考え方

本町の公共施設の長寿命化を図るべき施設、統合又は廃止する施設、当面維持を図る施設の判断基準として次のような事項を基本方針とします。

○長寿命化を図るべき施設

- ・建築後、概ね 30 年未満で、老朽度としては比較的良好(B、Bに近いC)、利用頻度(稼働率等)が高い施設
- ・国、県等の重要文化財の指定を受けている建物

○統合又は廃止する施設

- ・町内に類似施設があり、集約化が必要である。また、劣化度評価が低く(D判定又はDに近いC判定)、大規模修繕等の費用対効果が見込めない施設
- ・利用頻度(稼働率)が低い施設

○当面維持を図る施設

- ・上記以外の施設

(2) 改修の時期の考え方

ライフサイクル期間の基本的な考え方は、前項の(1)に示したとおりですが、既に大規模改修済みなどの場合は、その大規模改修等の時期を考慮して改修時期を考えます。

(3)改修の優先順位の考え方

当面維持、長寿命化の場合でも早期に実施する必要のある施設が集中した場合は、優先順位を設定します。基本的な考え方は、下記とおりとなります。

なお、義務教育や消防防災などの施設の優先度は、下表の考え方以外に施設の老朽化、利用状況、維持管理コストなどを加味し、評価します。これに施設の配置状況や利用住民の意見、行政側意見などの総合的な評価を行い、優先順位を決定します。

表 優先順位の評価要素

優先度	機能	施設例	更新の考え方
最優先	義務教育機能	小学校 中学校	・少子化による統廃合を検討する ・統廃合後の施設は原則として処分する ・町所有施設として、義務教育以外の行政サービスの実施場所としても有効活用を図る ・一定の敷地を備え、各地域に配置されていることから、更新の際は、防災機能と地域ニーズに対応した拠点施設(複合化、多機能化)として位置づける ・統合した新たな学校施設は、すべての施設を長寿命化の対象とする
優先	防災機能 行政機能	町役場、 地区公民館(避難所としての位置づけ有) 等	・原則としてすべての施設を長寿命化の対象とする ・建替が必要な場合は、財源確保の裏付けを得た上で、他施設との統合や費用対効果等、実現の可能性を検証し、決定する
その他	社会教育機能 文化機能 スポーツ・レクリエーション機能等	文化会館 図書館 体育館 等	・原則として統廃合の検討対象とする ・広域的な利用が可能な施設については、周辺市町村との連携を検討する

(4)各施設の長寿命化等の一覧表

①重点施設の長寿命化等の方針

前3項の方針に基づき、重点施設の長寿命化等(長寿命化、最小限の改修、廃止・統合)の方針を示したのが下表です。

表 重点施設の長寿命化等の方針

施設名称	延床面積	築年数	構造	避難所 指定の 有無	洪水浸水想定区域、家屋 倒壊等氾濫想定区域、土 砂災害警戒・特別警戒区 域内又は外の区分	稼働率 (%)	劣化度 評価	今後の方針
彦山総合センター	994.00	40	R C	● ◎	洪水、家屋等	20	D	当面維持
津野公民館	514.00	42	R C	● ◎	土砂	23	D	当面維持
隣保館	488.10	45	R C	○	—	25	D	当面維持
そえだ公民館	3,192.04	33	R C	●	—	70	C	長寿命化
町民会館	1,938.09	42	R C	○	—	20	D	当面維持
中元寺地区センター	620.00	39	R C	● ◎	—	—	D	当面維持
添田町立図書館・児童館(図書館)	1,047.92	24	R C	○	土砂	—	B	長寿命化
英彦山修験道館	514.00	34	R C		—	—	B	当面維持
添田町美術館	335.33	30	S R C		—	—	C	廃止
山伏文化室	1,634.00	42	R C		—	—	D	当面維持
埋蔵文化財センター	979.06	30	S R C		—	—	B	当面維持
勤労者体育施設(そえだドーム)	3,017.45	26	S R C	○	—	38	B	長寿命化
武道館	480.00	43	R C		—	15	D	当面維持
添田町体育館	1,580.67	46	S R C	○	土砂	9	D	当面維持
旧英彦中学校体育館	825.00	52	R C		洪水	—	B	廃止
野営場(倉庫)	50.00	35	木造			—	B	当面維持
野営場(シャワー棟)	39.00	31	C B			—	B	当面維持
野営場(ログハウス)	592.00	26	木造		—	—	C	当面維持
旧英彦山レクリエーションセンター	680.67	38	R C		土砂	—	B	当面維持
英彦山スロープカー(上駅-1)	137.00	16	S		—	—	B	当面維持
英彦山スロープカー(上駅)-2	72.00	16	S		—	—	C	当面維持
英彦山スロープカー(中駅)	336.00	16	S		—	—	C	当面維持
英彦山スロープカー(花園駅)	26.00	16	S		—	—	C	当面維持
英彦山スロープカー(中駅-2)	557.00	16	R C		—	—	C	当面維持
英彦山スロープカー(下駅)	104.00	16	S		—	—	C	当面維持
添田勤労者体育センター	779.00	36	S R C		土砂	—	B	廃止
ひこさんホテル和	2,444.00	18	S		土砂	14	B	長寿命化
しゃくなげ荘	2,702.67	27	S R C		土砂	27	D	廃止
歓遊舎ひこさん(物産館)	1,779.00	22	S	□	洪水、家屋等	99	B	長寿命化

施設名称	延床面積	築年数	構造	避難所 指定の 有無	洪水浸水想定区域、家屋 倒壊等氾濫想定区域、土 砂災害警戒・特別警戒区 域内又は外の区分	稼働率 (%)	劣化度 評価	今後の方針
歓遊舎ひこさん (水車小屋・餅つき棟)	36.00	22	木造		洪水、家屋等	—	B	当面維持
歓遊舎ひこさん (わくわくパーク食堂)	164.00	21	木造		洪水、家屋等	—	B	当面維持
歓遊舎ひこさん(陶芸窯施設)	53.00	21	木造		洪水、家屋等	—	B	当面維持
歓遊舎ひこさん(電動カート施設)	312.00	21	S		洪水、家屋等	—	B	当面維持
歓遊舎ひこさん(ミニS L収納庫)	82.00	21	R C		洪水、家屋等	—	B	当面維持
歓遊舎ひこさん(屋外トイレ)	14.00	22	R C		洪水、家屋等	—	B	当面維持
歓遊舎ひこさん(農園管理棟)	134.00	22	木造		洪水、家屋等	—	B	当面維持
旧津野中学校校舎	1,170.00	50	R C	□	土砂	—	D	当面維持
旧津野中学校校舎(プール更衣室)	62.00	32	R C	□	土砂	—	C	当面維持
みどり保育園	574.00	46	R C		—	—	D	当面維持
たから保育園	269.00	40	R C		—	—	D	当面維持
ひかり保育園	256.00	39	R C		土砂	—	D	当面維持
くるみ保育園	1,586.00	44	R C		洪水	—	D	当面維持
旧くるみ保育園	380.00	42	R C		—	—	D	廃止
添田町立図書館・児童館(児童館)	194.97	24	R C	○	土砂	—	B	長寿命化
錦風荘	2,624.00	44	S R C	◎	—	64	C	廃止
特別養護老人ホームそえだ	2,086.00	23	R C	◎	洪水、家屋等	82	B	廃止
包括支援センター	479.00	40	R C		—	78	D	当面維持
高齢者生活支援ハウスやすらぎ	587.00	20	S		土砂	93	B	当面維持
ふれあいの館	3,854.00	25	R C	○	—	—	B	当面維持
クアハウス「ハピネス」	1,040.00	18	S		洪水、家屋等	—	B	当面維持
添田町役場庁舎	3,850.81	46	R C		洪水	—	D	当面維持
庁舎別館(教育委員会)	233.00	43	R C		洪水	—	D	当面維持
大型作業場(作業場)	1,094.00	43	S		土砂	—	D	廃止
大型作業場(作業場)	69.00	43	S		土砂	—	D	廃止
大型作業場(職員棟)	65.00	43	S		土砂	—	D	廃止
添田町大型共同作業場2	1,526.00	22	S		—	—	B	当面維持
大型共同作業所	1,836.00	33	S		—	70	C	当面維持
農業近代化施設(ライスセンター)	1,308.00	36	S		—	—	C	当面維持
農業近代化施設 (共同集荷貯蔵施設)	1,609.82	34	S		—	—	B	当面維持
農業近代化施設(育苗施設)	530.33	33	S		—	—	B	当面維持
農業近代化施設(緑化棟)	283.50	36	S		—	—	B	当面維持

施設名称	延床面積	築年数	構造	避難所 指定の 有無	洪水浸水想定区域、家屋 倒壊等氾濫想定区域、土 砂災害警戒・特別警戒区 域内又は外の区分	稼働率 (%)	劣化度 評価	今後の方針
灰田農業団地（管理棟）	146.76	40	S		—	—	D	廃止
灰田農業団地（倉庫）	30.44	40	R C		—	—	D	廃止
灰田農業団地（ポンプ室）	8.08	40	R C		—	—	D	廃止
灰田農業団地（栽培ハウス）	990.00	40	S		—	—	D	当面維持
灰田農業団地（栽培ハウス）	990.00	40	S		—	—	D	当面維持
旧真木幼稚園校舎(校舎)	232.00	41	R C		—	—	D	当面維持
旧真木幼稚園校舎(給食室)	32.00	41	R C		—	—	D	当面維持

[凡例]

●:緊急指定避難所 ○:指定避難所 ◎:福祉避難所 □:避難場所

—:災害等想定・警戒区域外

②重点施設以外の施設の長寿命化等の方針

重点施設以外の施設の長寿命化等の方針を示したのが下表です。

表 重点施設以外の施設の長寿命化等の方針

施設名称	延床面積	築年数	構造	避難所 指定 の有無	洪水浸水想定区域、 家屋倒壊等氾濫想定 区域、土砂災害警 戒・特別警戒区域内 又は外の区分	稼働率 (%)	劣化 度 評価	今後の方針
真木朝日教育集会所	146.38	47	R C	○	－	25	D	当面維持
長平教育集会所	135.80	48	木造	○	－	－	D	当面維持
畑井教育集会所	251.10	43	R C	○	土砂	25	D	当面維持
朝日ヶ丘団地伊原集会所	59.00	51	木造		－	－	D	廃止
豊川教育集会所	230.00	46	R C	○	－	25	D	当面維持
中鶴教育集会所	423.30	41	R C	○	洪水	25	D	当面維持
不動教育集会所	299.50	44	R C	○	－	25	D	当面維持
津野生活改善センター	238.00	48	R C	○	－	10	D	当面維持
野田公民館	298.00	39	S	○	－	－	D	当面維持
鏡町集会所	178.00	45	R C	○	洪水	－	D	当面維持
豊川集会所	156.00	29	R C		－	－	B	当面維持
コミュニティーハウス	140.00	18	R C		－	－	C	当面維持
鳥迫教育集会所（集会所）	199.20	42	R C	○	土砂	25	D	当面維持
鳥迫教育集会所（倉庫）	不明	42	不明		－	－	D	当面維持
住民センター	190.00	34	R C	○	－	4	C	当面維持
財蔵坊	136.78	47	木造		－	－	D	当面維持
英彦山運動公園	104.00	31	C B	□	－	7	C	廃止
彦山観光案内所	123.00	17	木造		土砂	－	B	当面維持
添田町物産展示場	200.00	33	S R C		－	－	C	当面維持
鷹巣原休憩所（特産品売場）	23.18	30	R C		土砂	－	C	廃止
旧津野出張所	88.00	38	R C		土砂	－	D	廃止
一分団格納庫	84.00	38	C B		土砂	－	D	当面維持
二分団格納庫	80.00	31	C B		洪水	－	C	当面維持
三分団格納庫	111.00	17	簡易防火		－	－	B	当面維持
四分団格納庫	66.00	35	C B		－	－	B	当面維持
五分団格納庫	111.50	14	C B		洪水	－	B	当面維持
六分団格納庫	66.00	36	C B		土砂	－	C	当面維持
第五分団格納庫	35.00	29	木造		－	－	B	当面維持
本部 消防格納庫	128.00	42	R C		洪水・土砂	－	D	当面維持
農村公園緑地（管理棟）	79.00	14	木造		－	－	A	当面維持

施設名称	延床面積	築年数	構造	避難所 指定 の有無	洪水浸水想定区域、 家屋倒壊等氾濫想定 区域、土砂災害警 戒・特別警戒区域内 又は外の区分	稼働率 (%)	劣化 度 評価	今後の方針
農村公園緑地（東屋）	20.00	14	木造		－	－	A	当面維持
農村公園緑地（河川プール）	210.00	14	C B		－	－	A	当面維持
添田公園公衆便所	59.00	25	S R C		－	－	B	当面維持
駅前駐車場便所	9.00	30	C B		土砂	－	C	廃止
庄西近代化施設（工場）	291.00	39	S		－	－	D	当面維持
庄西近代化施設（職員棟）	52.00	39	S		－	－	D	当面維持
旧庁舎西別館	93.00	38	R C		－	－	D	廃止
旧警察官舎（旧警察官舎）	632.55	48	R C		洪水	－	D	当面維持
旧警察官舎（倉庫）	42.19	48	C B		－	－	D	当面維持
町一共同作業場	105.00	42	S R C		土砂	－	D	当面維持
添田町食肉加工施設	84.00	11	木造		－	－	B	当面維持
真木朝日シイタケ栽培施設 （栽培施設）	144.00	40	S		－	－	D	廃止
真木朝日シイタケ栽培施設 （栽培施設）	248.00	40	S		－	－	D	廃止
真木朝日シイタケ栽培施設 （栽培施設）	83.00	40	S		－	－	D	廃止
中鶴納骨堂	76.00	46	R C		－	－	D	当面維持
庄西納骨堂	44.00	40	R C		土砂	－	D	当面維持
不動納骨堂	100.00	51	R C		－	－	D	当面維持
豊川納骨堂	100.00	49	R C		－	－	D	当面維持
烏迫納骨堂	102.00	44	R C		－	－	D	当面維持
新城真木納骨堂	65.00	45	R C		－	－	D	当面維持
添田町農業用機械保管倉庫	208.00	11	S		－	－	B	当面維持
下中元寺農機具倉庫	104.00	38	S		－	－	D	当面維持
豊川農機具倉庫	156.00	47	S		－	－	D	当面維持
中鶴農機具倉庫	84.00	45	S		洪水	－	D	当面維持
畑井農機具倉庫	111.00	26	S		土砂	－	B	当面維持
不動農機具倉庫	173.00	48	S		－	－	D	当面維持
真木朝日農機具倉庫	114.00	47	S		－	－	D	当面維持
豊川管理室	52.00	47	木造		－	－	D	当面維持
ミニ S L 添田格納庫	40.00	31	C B		土砂	－	D	廃止
ミニ S L 英彦山格納庫	119.00	31	C B		土砂	－	D	廃止
旧職業訓練校	200.00	72	木造		土砂	－	D	廃止

施設名称	延床面積	築年数	構造	避難所 指定 の有無	洪水浸水想定区域、 家屋倒壊等氾濫想定 区域、土砂災害警 戒・特別警戒区域内 又は外の区分	稼働率 (%)	劣化 度 評価	今後の方針
添田町役場庁舎車庫兼書庫	156.00	46	S		洪水	—	D	当面維持
英彦山花園管理倉庫	18.00	16	木造		—	—	A	当面維持
庄原遺跡倉庫	48.60	24	木造		—	—	D	廃止
お休処（公衆便所）	23.18	30	C B		—	—	C	当面維持
陣屋ダム公衆便所	9.60	不明	C B		土砂	—	D	廃止
油木ダム 2 津野小学校横便所	11.64	41	C B		—	—	D	廃止
油木ダム 3 事務所横便所	11.64	41	C B		洪水	—	D	当面維持
油木ダム 5 公園便所	11.64	41	C B		—	—	D	当面維持
畑地かんがい施設（配水ポンプ）	56.00	43	R C		—	—	D	当面維持
畑地かんがい施設（送水ポンプ）	42.54	43	R C		—	—	D	当面維持

[凡例]

●：緊急指定避難所 ○：指定避難所 ◎：福祉避難所 □：避難場所

—：災害等想定・警戒区域外

3. 重点期間(令和3年度～8年度)における個別計画(実施計画)の考え方

個別計画を策定するにあたっては、前項のライフサイクル期間の考え方、長寿命化等の基本方針及び施設の老朽度評価、不具合状況等を踏まえ、重点施設については、次のように具体的に施設選定を行いました。

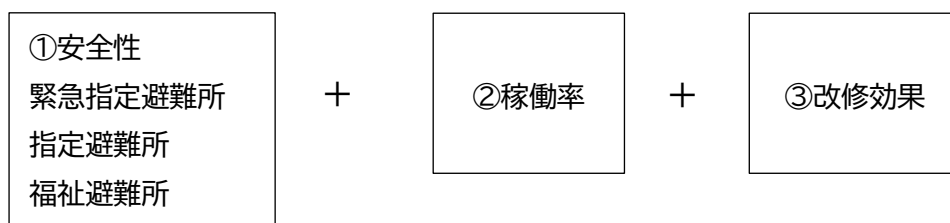
(1)改善等の施設の選択

○緊急的に実施すべき施設、部位の選択

- ・劣化度調査において、放置したままにしておくとも安全性、施設の利用に大きく影響を及ぼす施設、建物の部位等
- ・施設全体の改善は行わず、不具合ある個所の修繕のみを行う

○庁舎(空調改修工事、電話設備更新工事)
○農業近代化施設(自主検査設備更新工事)
○歓遊舎ひこさん(テナント照明器具交換修理)
○ひこさんホテル和(外壁漏水補修工事、給水加圧ユニット修繕費、空調改修工事)
○町立図書館・児童館(排煙窓改修、児童館側雨樋改修)
○英彦山スロープカー駅舎(乗降口鉄板改修)
○旧英彦山レクリエーションセンター(トイレ改修、屋外電気設備改修)
○中元寺地区センター(外壁・屋根裏コンクリート爆裂改修)
○クアハウス(高圧電気設備部品交換工事、受水槽外壁塗装工事)
○たから保育園(サッシ廻りの改善)
○そえだ公民館(2階屋上防水改修)
○隣保館(避難階段改修)

○当面維持管理、長寿命化計画と位置づけられた施設で、下記の項目をもとに改修の優先順位を設定



① 安全性(避難施設)

- ・災害時における町民の安全を確保するために早急に改修すべき施設

② 稼働率

- ・稼働率が高く、利用効率の高い施設

③ 改善効果

- ・出来るだけ早い時期に長寿命化改善を実施し、ライフサイクルコストを縮減する施設
 - ・建物は 15～20 年周期で改善を行うことで概ね 80 年は使用可能となるので、建築後概ね 20～30 年の建物で、早い時期に改修を行う方が効果がある施設
- ※但し、将来的に廃止、統合する施設は除外

①安全性(避難施設)

隣保館、そえだ公民館、町立図書館・児童館、そえだドーム、歓遊舎ひこさん、包括支援センター、ふれあいの館、役場庁舎(災害本部としての役割)

②稼働率(R1年)

そえだ公民館:70%、そえだドーム:38%、隣保館:25%

③改修効果(①の選択のうち建替後の概ね 20～30 年の建築)

そえだ公民館(33 年)、町立図書館・児童館(24 年)、そえだドーム(26 年)、歓遊舎ひこさん(21 年)、ふれあいの館(25 年)

(2)長寿命化改修の優先順位

①、②、③から判断し、下記のように設定

- そえだ公民館
- 町立図書館・児童館
- そえだドーム
- 歓遊舎ひこさん
- ひこさんホテル和

(3)当面維持でも計画的に最小限の改修をする施設

- ・建築後 40 年以上経過しており、避難施設の位置づけあり
- ・概ね建築後 30 年～40 年経過している建物
- ・当該施設は、出来る限り早い時期に最小限の改修工事を実施

- 中元寺地区センター(築 39 年)
- 英彦山修験道館(築 34 年)
- スロープカー拠点駅(築 42 年)
- 山伏文化室(築 42 年)
- 埋蔵文化財センター(築 30 年)
- 大型共同作業所(築 33 年)
- 農業近代化施設4件(築 33～36 年)
- 添田大型共同作業場 2(築 22 年)

(4)6か年計画

令和3～令和8年度までの6か年の改修事業の実施計画は下記のとおりとします。

この期間は、重点施設の改修事業を優先的にを行い、その他の施設については、必要に応じて、維持的補修で対応していきます。また、社会・経済情勢の変化や施設の劣化状況等に応じて、適時見直しを行います。

	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度	備 考
1. 緊急的に実施する施設部位							
○庁舎 ・空調改修工事							
・電話設備更新工事							
○農業近代化施設 ・自主検査設備更新工事							
○歓遊舎ひこさん ・テナント照明器具交換修理							
○ひこさんホテル和 ・外壁漏水補修工事 ・給水加圧ユニット修繕 ・空調改修工事							
○町立図書館・児童館 ・雨樋補修工事 ・排煙窓改修工事							
○英彦山スロープカー駅舎 ・乗降口鉄板改修							
○旧英彦山レクリエーションセンター ・トイレ改修工事 ・屋外電気設備改修工事							

学校建設時期

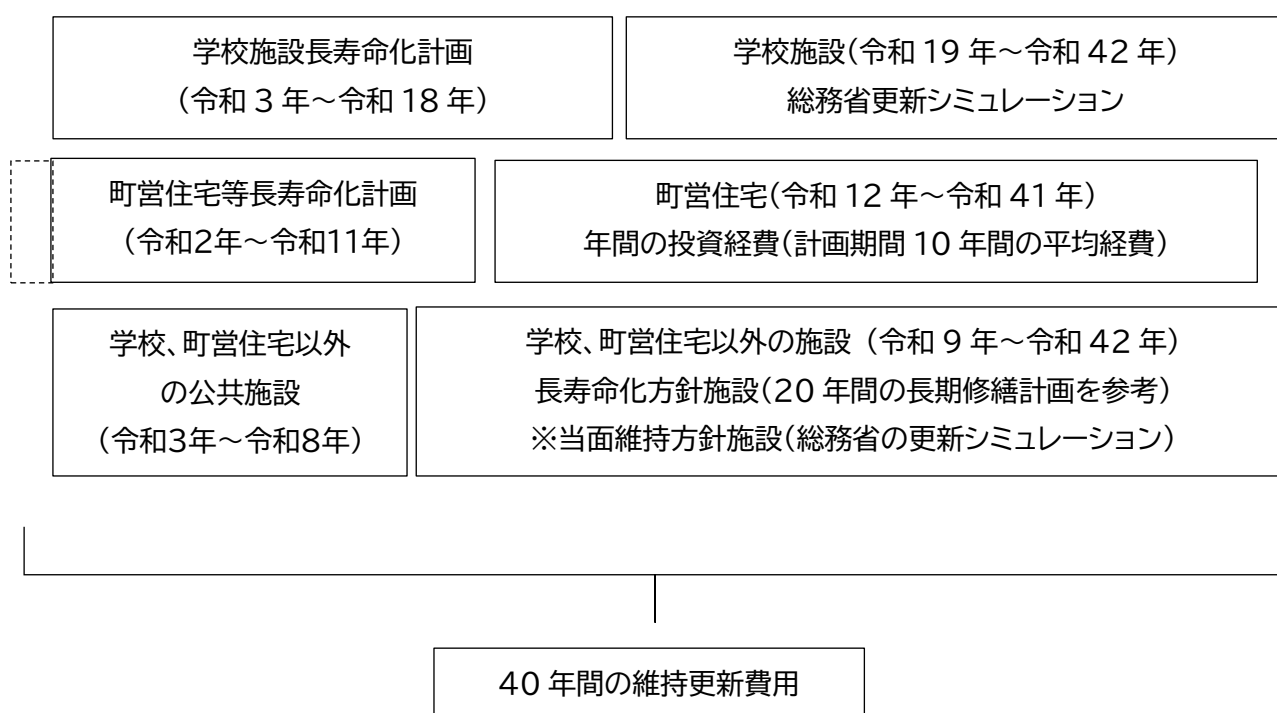
	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度	備 考
1. 緊急的に実施する施設部位							
○中元寺地区センター ・外壁・屋根裏コンクリート 爆裂改修							
○クアハウス ・高圧電気設備部品交換工事 ・受水槽の外壁塗装							
○たから保育園 ・サッシ廻り改修			学校建設時期				
○そえだ公民館 ・２階屋根防水工事							
○隣保館 ・避難階段の改修							
	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度	備 考
2. 長寿命化改善の改修							
そえだ公民館			調査・改修設計	■■■■■	改修工事		
町立図書館・児童館			学校建設時期	■■■■■	■■■■■		
そえだドーム							
歓遊舎ひこさん							R 9 年度以降実施
ひこさんホテル和							

		R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度	備 考
3. 当面維持(最小限の改修)								
英彦山修験道館						■■■■■	■■■■■	外壁改修、空調設備の改修
スロープカー拠点駅・山伏文化室						■■■■■	■■■■■	最小限の外壁改修、屋根防水
埋蔵文化財センター								R 9 年度以降改修
大型共同作業所				学校建設時期				
農業近代化施設								
添田大型共同作業場2								

4. 将来の公共施設(建築系)の維持更新のシミュレーション(40 年間)

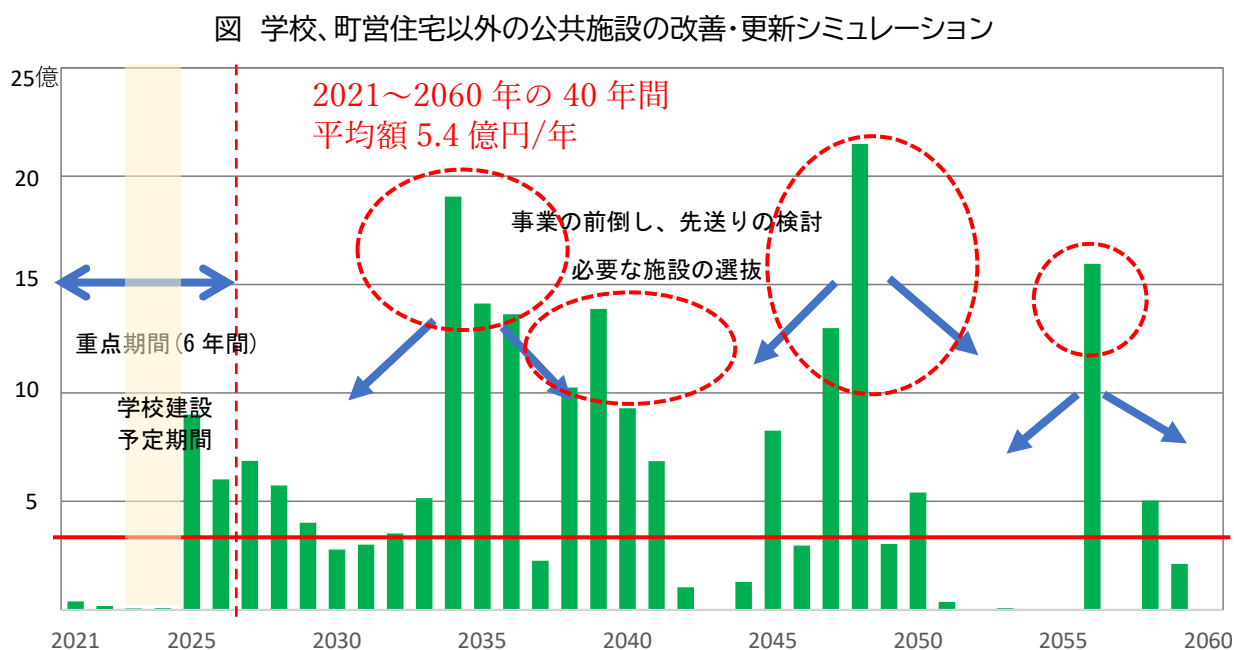
(1)算出方法

- ・令和 3 年度に実施する添田町公共施設等総合管理計画見直しにおける建築系の公共施設の維持更新費用シミュレーションは、次のような方法で算出することとします。
- ・学校施設長寿命化計画及び町営住宅長寿命化計画で定められている計画期間の事業費は、各計画を尊重します。
- ・学校・町営住宅以外の公共施設は、今回の計画で定めた長寿命化等の方針(長寿命化、廃止、当面維持)に基づいて算出した概算事業費を合算した維持更新費用とします。



(2)維持更新シミュレーション結果

- ・学校施設、町営住宅以外の公共施設について、本計画で定めた長寿命化の指針を考慮した維持更新費用は、40 年間全体で 216 億となり、年間約 5.4 億円となります。
- ・今後は、年度別の事業費の平準化を図っていくため、事業の前倒し、先送り、又は事業の分割などを検討します。



- ・平成 28 年度に策定した総合管理計画では、公共施設(建築系)全体で年平均 15.4 億円という結果でした。
- ・添田町公共施設等総合管理計画見直しにおける維持更新シミュレーションにおいては、前頁の要領に基づき、学校施設と町営住宅の維持更新費用を加え、全施設の維持更新費用の見直しを行うこととします。
- ・2034~2036 年、2038~2040 年にかけての維持更新費用が概ね 10~18 億円に増加しているのは、昭和 50 年代に建設された施設が、すべて建替として事業費にあげられているためであります。この期間の事業費を削減していくためには、今後、50 年代建設の施設において、地域の人口規模や利用状況に応じた施設・機能の見直し、近隣市町村との広域的利用等を検討していく必要があります。

5. 実現化に向けて

(1) 公共施設(建築物)の現状と課題

総合管理計画を参考にしつつ、今回、実施した劣化度調査及び方針設定等も含め、本町の公共施設の維持管理等の課題は、次のようなことがあげられます。

○人口減少に対応した公共施設の削減化

- ・公共施設の町民一人当たりの保有量は、全国平均に比べて 3.6 倍、県内類似自治体平均と比べて 2.0 倍と大きく上回っています。
- ・将来人口(添田町人口ビジョン:独自推計 H27.11)は、2060 年で約 6,600 人と減少が見込まれており、今後は、町の実情を踏まえ、将来的な町民ニーズに対応した適切な公共施設保有量にしていく必要があります。そのためには圏域ごとの地域実情を鑑み、類似施設の統廃合、稼働率の低い施設の廃止等を計画的に進めていく必要があります。

○まちづくりと連動した公共施設の機能維持

- ・公共施設総床面積は、人口規模や町民利用にふさわしい規模に縮減していくことはやむを得ないとしても、町域全体、小学校区、行政区の圏域に応じた適切な施設配置、機能の維持を図っていく必要があります。
- ・したがって、施設の廃止、統廃合による全体の規模縮小と併せて、統合する施設には必要な機能の維持、あるいは地域ニーズに応じた機能の補填等を検討していく必要があります。また、各圏域をにらんだ適切な施設配置にも配慮し、まちづくりと連動した公共施設の総合計画づくりを行っていく必要があります。

○予防保全的な維持管理及び耐震診断・耐震化の促進

- ・建築物は、部位ごとの修繕周期にあわせて適切に修繕をすることで、80 年は長く使用できます。建物を長く使用することは、長期的な視点に立った予防保全的な管理を行っていくことが重要であり、長期的にはライフサイクルコストからみてもコスト低減につながります。
- ・本町の公共施設(重点施設)の劣化度調査を行ったところ、適切な維持管理が行われておらず、C判定、D判定が 6 割近くを占めています。また、旧耐震基準での建物も多く残っており、これらの建物で長期に使用するものについては耐震診断を行い、耐震基準を満たしていない建物は耐震化を進めていく必要があります。

○定期的な日常点検と清掃活動

- ・建物をできる限り長く使用していくためには、日常的な点検を行い、早い段階で不具合や故障箇所を発見し、修繕することが長期的にはコスト低減につながります。また、雨樋や屋上のドレインにゴミや土が溜まっていることが雨漏りの原因にもなるため、定期的な清掃管理を行っていくことも大切です。

(2)実現化のための方策

○計画的な廃止と除却の実施

- ・本町の保有量の削減を進めていくためには、計画的に公共施設の廃止、統廃合を行っていく必要があります。
- ・本計画において、重点施設の「長寿命化等の方針(長寿命化、当面維持、廃止・統廃合)」を定めました。特に廃止に位置付けた施設については、当面は施設閉鎖で対応するとしても、長く放置したままでは劣化が進行し、安全性や治安上の問題も発生します。
- ・このため、廃止する施設については、財政状況を考慮しながら、計画的に除却していきます。

○日常点検の実施、情報の一元化

- ・公共施設を適切に維持管理していくためには、日常管理を徹底していくことが大切です。このため、各施設所管部署が責任をもって日常点検を実施するための「日常点検マニュアル」を作成し、実施する運営方法や体制づくりを検討します。
- ・今回の計画で策定した「施設カルテ」は、毎年各施設の所管部署がデータ更新を行い、カルテと日常点検の結果は、公共施設等総合管理計画の所管部署が情報の一元化を図ります。

○個別計画の見直し～PDCAサイクルの実現

- ・本計画の重点期間は令和3年～8年度までの6年間ですが、適宜(最低でも5年後)見直しを図り、確実に実行していくことが大切です。このため、庁内で「評価委員会」を組織し、達成状況をチェックする体制を構築し、「PDCA サイクル」を実践していきます。

○「長寿命化」位置づけ施設の長期修繕計画の策定と見直し

- ・今回の計画の重点施設において、「長寿命化」に位置付けた施設については予防保全的な改修の観点から長期修繕計画を策定し、できるだけ長く使用していくこととします。
- ・地域事情や財源状況等によって、計画の変更がある場合は、速やかに長期修繕計画を見直し、実施していきます。